

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年9月10日

東京大学での所属学部・研究科等:	人文社会系研究科	学年(プログラム開始時):	博士1
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ミュンヘン大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

ドイツ、バイエルン州のミュンヘンの大学。

留学した動機

(1)ミュンヘン大学のある先生に学びたかった、(2)ドイツ語を習得したかった、(3)ミュンヘンを拠点に研究用の資料を収集したかった。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	博士1	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	研究指導の委託				
③留学期間等:	2017年	9月~	2018年	8月	
	博士1	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	博士2	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	年		年生の		月頃に
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			10	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位
	留学後の取得(予定)単位			10	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2017年	4月入学	2020年	3	月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	3年				ヶ月間
⑨留学時期を決めた理由:					

直近の時期だったから

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

ウェブ上で申請。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)					
ドイツ渡航後、住所登録を済ませたのちに学生ビザを取得。十分な収入があるという証明書を事前に、在日本ドイツ大使館にて発行しなくてはならない点に注意。					
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)					
とくになし					
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)					
東大指定の保険に加入が義務付けられていて、それ自体はかまわないのだが、保険料の支払いが留学前に一括払い(十数万円)しなくてはならず、それゆえに留学後の生活が非常に厳しかった。(奨学金の支給が11月からだから。)分割払いなどの制度をぜひ導入してほしい。しかも、ドイツでは学生ビザの取得のためにはドイツ国内の保険に加入しなくてはならない(月90ユーロ)ため、実質、二重に保険に加入していることになり、大変非経済的。保険内容を変えるなど、工夫してほしい。せつかくの留学を、こうした構造上の問題で諦める学生が出てきたら、非常に不憫で、東大は全く留学を促進するつもりがないと思われるでも仕方がない。					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)					
通年の授業の単位の分割認定をおこなった。					
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)					
留学先の使用言語を英語として応募したので、IELTSを受験しておいた。ドイツ語は未修だった。					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
おもに金銭的な準備。					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
アラビア哲学文献購読					
政治神学概論					
トルコ語					
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)					
博士課程なので、授業数は少なく、おもに自主行動。					
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など					
2~3コマのゼミおよび講義を履修。ドイツ語の語学学校にもかよった。					
④学習・研究面でのアドバイス					
積極的に。					

⑤語学面での苦勞・アドバイス等
他の留学生とは英語を使ってしまいがちなので、英語よりもドイツ語の得意な留学生と仲良くなれるとよい。
生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
ミュンヘンのStudentenwerk(生協のようなもの)が割り当てた大学生寮。キッチン、シャワー、トイレ共用。個室だがかなり狭い。家賃380ユーロ。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
自炊すれば生活費はかなり抑えられる。日本の口座に振り込まれる奨学金等を引き出す手段をよく準備しておいたほうがよい。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
治安はよい。日本にいるよりも健康に過ごせた。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
JASSOから月8万円の奨学金を受給できたが、物価の高いミュンヘンで暮らすにはこれではまったく足りない。家賃380ユーロ、ドイツの保険90ユーロ、ほかに語学学校授業料を考えれば明らかだろう。なのでわたしは12月から3月まで、日本料理屋でアルバイトをした。
・留学に要した費用総額とその内訳
おそらく150万円ほど。
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
JASSOの奨学金。月8万円。4月からは学振DC2。
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
上述のとおり、学振DC2を受給し始めるまで、経済的にかなり苦しかったので、ほとんど課外活動は行えなかったと言ってもよい。しいて言えば、オペラ(学生はとて安くて10ユーロ以下)や山へのハイキング。
派遣先大学の環境について
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
大学側からとくにサポートは受けなかったのわからない。
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
綺麗な図書館があるが、わたしの研究上必要な書籍は所蔵されていない場合が多くあった。

留学と就職活動について	
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど	
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響	
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)	
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください	
	1. 研究職
	2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:)
	3. 公的機関(機関名:)
	4. 非営利団体(団体名又は分野:)
	5. 民間企業(企業名又は業界:)
	6. 起業(分野:)
	7. その他()
留学を振り返って	
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感	
自分の研究は順調に進められたし、ドイツ語もある程度覚えることができたので、良い留学だったと言える。	
②留学後の予定	
これまで通り、博論完成を目指して、研究。	
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス	
留学中、最初から最後まで経済的な問題に苦しめられたので、支給額、制度などの面で優れた奨学金を得ることが必要。留学先としては、ドイツのなかでもミュンヘンはとくにすばらしい都市だと思うので、おすすめしたい。	
その他	
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物	
特になし。	
②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。	

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年 9月 13日

東京大学での所属学部・研究科等:	人文社会系研究科	学年(プログラム開始時):	博士2
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ミュンヘン大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

ドイツで1、2位を争うレベルの総合大学。特に文系に強い

留学した動機

演劇学の本場で学びつつ、ヨーロッパ各地の劇場を訪れるため

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	博士2	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	9月~	2018年	8月	
	博士2	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	博士3	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	年		年生の		月頃に
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			単位	
	留学後の取得(予定)単位			単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	年		月入学	年	月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:		年		ヶ月間	

⑨留学時期を決めた理由:

博士論文執筆時期との兼ね合い

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

とにかく時間がかかる。受入大学からの資料が中々到着しない					
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)					
学生ビザを申請。朝一番に行ったので1時間程度で手続きが終わったものの、なるべく早く終わらせるために現地の人に手伝ってもらった					
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)					
ドイツの薬は量が多いので、なるべく常備薬を持って行った方が良い					
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)					
ドイツの健康保険に入っていることが必須なため、東大の保険と二重で加入しなければならない					
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)					
申請書の提出のみ					
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)					
B2を事前に取得					
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど					
カイロ、氷枕、保冷バッグ(しっかりとした布製のものは現地になし)、B5サイズのノート、グリップが柔らかいシャープペンシル					
学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)					

<p>事前にアップロードされたレジュメを予習して臨む講義形式の授業</p>
<p>③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など</p>
<p>一週間に一コマの講義+週四日語学学校</p>
<p>④学習・研究面でのアドバイス</p>
<p>特にドイツ語の授業のみを受講する場合は、語学授業(語学学校)とのバランスを考慮しつつ履修を考えると良い</p>
<p>⑤語学面での苦勞・アドバイス等</p>
<p>10月以降も語学学校に通った方が良い。カフェや劇場で現地の人と積極的に話すようにすると、語学が上達する</p>
<p>生活について</p>
<p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)</p>
<p>大学からの紹介(学生寮)</p>
<p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)</p>
<p>交通の便がよい。大学も、街の中心部から歩いて行ける距離。海外送金とクレジットカードを併用</p>
<p>③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)</p>
<p>夜遅くには一人で歩かない</p>
<p>④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)</p>
<p>・毎月の生活費とその内訳</p>
<p>寮費:月25000円強</p>
<p>・留学に要した費用総額とその内訳</p>
<p>無回答</p>
<p>⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)</p>
<p>全学交換留学のホームページ上で見つけた</p>

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)	
頻繁に旅行へ出かけた	
派遣先大学の環境について	
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)	
9月に一ヶ月集中の語学学校があり、大学からも通うことを勧められる	
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)	
図書館、食堂、Wi-fiあり。スポーツ施設は街中から離れているものの、大学からは電車一本で行ける	
留学と就職活動について	
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど	
行っていない	
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響	
無回答	
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)	
特になし	
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください	
	1. 研究職
	2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:)
	3. 公的機関(機関名:)
	4. 非営利団体(団体名又は分野:)
	5. 民間企業(企業名又は業界:)
	6. 起業(分野:)
	7. その他()
留学を振り返って	
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感	
多くの舞台作品を鑑賞し、現地の劇場文化を肌で感じながら語学力を高めることができた。また、今後博士論文を執筆するに当たって、第一線の研究者達と何度も意見交換を行うことができた意義は大きい。	
②留学後の予定	
博士論文の執筆	

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

大学院生としての留学は、論文執筆や学会発表、奨学金取得可能時期などを考慮しなければならないので指導教員と何度も相談を重ねることが必要だと思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

特になし

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

特になし